

第5回総合部会主要意見

日時：H21.3.9（月）14:30－17:30

場所：県庁6階第2会議室

1. 21世紀ビジョンの価値観について

- 基本理念に記載されている「県民全体で共有する価値観」はとても重要。沖縄は、異質を前提とした多様な地域の集合体であり、沖縄県民全体で価値を共有するためには、共感できる前向きなメッセージを発信していく必要がある。
- 現在社会では人間を認めない価値観が横行しているが、沖縄は人間を中心にした価値観を持つべき（個々人の尊重、人間性の回復など）。それを前提に市場原理があるという方向で推し進めていった方がよい。
- 残すべきものを変えていくべきものを考える際、県民全体で価値観を再認識、再確認し、時代錯誤に陥らず、感覚的発想でもないユニバーサルな価値観を確立する必要がある。
- 沖縄を特徴づけるものとして歴史、伝統、文化など、沖縄を「邦」としてはつきり浮かび上がらせるもの、独自性がある価値観、20年朽ちないものを議論していくべき。

2. 21世紀ビジョンの将来像について

- 将来像には、サブフレーズが必要だと思う。
外に向けたインパクト、訴求力を考えると、サブフレーズで将来像をイメージさせ、政策に具体的な展開例を示すような関係づけていくべき。
例)・理念から導き出されるサブフレーズ「生命」 → 施策等「医療・バイオ産業」
 - ・ " " "人権" → " "人間の安全保障センター"
 - ・ " " "平和" → " "地域間協力" "国際貢献"
 - ・ " " "連帯" → " "セーフティーネット"
 - " "国際協調主義"
- 将来像として、みんなが共有できるようなキャッチフレーズが必要。5つの将来像は島づくりの要素だと思う。もっとはつきりと県民全員が自分の役割をイメージできるテーマ、沖縄らしいキャッチフレーズを設定する必要がある。

- 将来像は、「外の目」を意識することも大切だと思う。また、沖縄らしい方がよい。沖縄らしさを裏うちするものは、客観的なもの（地理的条件、歴史等）と主体的なもの（生活文化、県民性等）の両方あると思う。

3. 国際協力拠点としての沖縄の可能性

- 沖縄の海洋海域の可能性の一つとして、太平洋諸国（ミクロネシア等）への貢献・国際協力を提案したい。太平洋諸国における EEZ（排他的海洋水域）と海洋環境の共同管理等の問題、島単位の自立の問題、温暖化や産業廃棄物の問題、乱獲による水産資源の枯渇問題など、沖縄における問題をそのまま技術協力等の面で協力できる。
- 沖縄は、世界／アジア／日本の中でどういう場所を目指すのか、ということ意識して議論していくことが大切。国際的な地域間協力の場所、安全を提供できる場所など「沖縄だからできること」を考えた方がいい。

4. 2030年の在沖米軍基地の状況について

- 変えていくべきものの筆頭に、広大な県土が基地によって占有されている状況がある。ビジョンでは、(基地のない)「あるべき県土の姿」を主張すべき。2030年に仮に基地が残る（残っている）としても、基地の民需転用、平和利用など思い切った提案（問題提起）をするべき。
- 沖縄の基地や離島を起点とした海域は、日本の国益として安全保障を担保している場所である。沖縄の管理権、所有権とともに、国に支援義務があることをきちんと主張すべき。また、将来の資源活用の観点から鉱業権を主張することも考えるべき。
- 現実問題として、2030年までにすべての基地が返還されている状況は考えにくいという意見もあるが、少なくとも嘉手納以南の基地はないものと想定したい。
- 米国内では、基地の先端技術が地域の企業等に移転され、産業が発展している事例もある。沖縄でも基地が返還されるまでの間に、基地のソフト面を活用し、スキルアップや雇用に結びつけていく取り組みが必要。

5. 沖縄の地域社会、伝統文化について

- 沖縄の地域社会は内向きで、自己規制的である。地域文化、アイデンティティも大事だが、比較できる視点や自由な議論が必要。
- 地域の事を知るというのは、内向きではなくむしろ外向きである。地域を語れる人こそが、外に出て成長する。インパクトは、沖縄の人の中に必要であり、地域を知るとは、大切だと思う。
- 沖縄の文化は伝統文化に限定されがちだが、守るべき物は、それを創った人達の精神だと思う。生命力豊かな文化でないと、伝統文化に成り得ない。そういう面では、文化においても変えるべきものがある。

6. その他

- ビジョンについては、日本の国益を視野に入れつつ、今後の重要課題、例えば海洋・海域の重要性等も将来戦略の要素に据え、国との政策協議を重ねていくことを意識して策定を進めるべき。
- 人材育成において、語学も大切だが地域に誇りを持つ精神性も大事。国際的に何を発信するか、それを明らかにしていくことが重要。
- 21世紀ビジョンの見せ方を考えたとき、インドネシアのガルーダパンチャシラが思い浮かんだ。インドネシアのビジョンのようなもので、標語、音楽、イラスト等で国民に周知されている。ビジョンを県民に周知する際の参考になるのではないか。
- 沖縄県マークは、「海洋」「平和」「発展」という意味がある。ビジョンにもこの3つのキーワードを入れてはどうか。また、高校生作文コンクール等からでた若者の意見も反映できればいい。